

会 議 録

教育長	令和 7 年度第 8 回沖縄市教育委員会定例会をこれから開会いたします。はじめに事務局より、本日の会議について説明をお願いいたします。 教育総務課長より、出席者及び議事日程について説明。
教育長	本日の会議録の署名については、本永委員を指名いたします。それでは日程第 1、「教育長の一般報告」についてお手元の資料より報告いたします。 報告資料「9 月教育長参加行事一覧」のとおり報告。
教育長	ただいまの報告につきまして、何か質疑等はありませんか。
教育委員	質疑なし。
教育長	続いて、日程第 2、報告事項「令和 8 年度の週時程を見直すための検討委員会について」事務局より説明をお願いいたします。 指導係長より別紙「令和 8 年度の週時程を見直すための検討委員会について」のとおり説明。
教育長	ただいまの議案につきまして、質疑等はございませんか。確認ですが、検討委員会では、5 校時の日を作るということで合っていますか。
指導係長	はい。本来であれば全て 5 校時が望ましいのですが、なかなか難しいので、現在よりも 5 校時を増やす取り組みを検討していただく、という提案となっております。

会 議 録

本永委員	6校時の日を減らすということですか。
指導係長	はい。週の中で5校時の日を増やす取り組みとなります。
嘉納委員	授業日数は現行のままで5校時を増やすとなると、時数は確保できますか。
指導係長	最低限の1,015時間と、予備時数も含めると、全て5校時にすることは難しいです。5校時を増やすためには、授業日数を増やす必要があるため、夏休みで調整する必要があります。その場合、夏休みは少なくなりますが、日々のゆとりが出ると考えられます。あくまでも教育委員会としては案を提案し、学校長に決めていただくことになります。また、学校の実態に合わせてアップデートしていく形を考えています。
仲本委員	最終的には統一する予定ですか。
指導係長	各学校の実態も違っており、最終的には教育課程の決定権は学校長にありますので統一ということではありません。
教育長	懸念されている事項としては週時程が学校ごとに大きく違ってくることが考えられています。
指導係長	始めたばかりはそういった状況も考えられます。
教育長	学校の特色や課題を考えたうえであくまで提案として示していきます。
本永委員	週時程に関しては、働き方改革や学力向上、不登校等の課題を解決するためには重要であると考えています。 実施していく上で、限られた時間の中で期待している効果を出せる週時程を研究し、成果が出せれば、解決できるのではないのでしょうか。 夏休みについても、保護者からは色々なお話を聞いています。例えば共働きの家庭も多く、お昼ご飯等の問題もあると思います。先生方からも、夏休みを少し減らして、日々の業務のゆとりが欲しいという声も上がっています。 お互いにとって良い週時程となるよう期待しています。

会 議 録

教育長	こういった取り組みは、沖縄市が初めてとなっています。 以前は中頭教育事務所が教育課程編成の研究員を指名していました。指名された職員は成果をまとめ各学校へ報告していましたが現在はなくなっています。そのため、今回の検討会で案を出し、考えていきたいです。
仲本委員	裁量権が学校長にあるということは、校長が変わると学校の方針も変わることがあるということですか。 というのも、在学中に学校長が変わり、週時程が変わると、保護者や生徒の混乱を招きかねないのではないのでしょうか。
教育長	その点も含めて学校長には考慮していただきます。 また、試行錯誤していき、将来的には沖縄市としての方針としていきたいと考えています。
教育長	その他質疑等はございませんか。
教育委員	質疑なし。
教育長	続いて、日程第3、報告事項「令和7年度沖縄市教育委員会表彰選考会の審査結果について」 事務局より説明をお願いいたします。 教育総務課長より別紙「令和7年度沖縄市教育委員会表彰選考会の審査結果について」のとおり説明。
教育長	全体で58名と、前年度より多くの選定となっております。 ただいまの報告につきまして、質疑等はございませんか。
教育委員	質疑なし。
教育総務課長	中の町小学校と安慶田中学校からは、5名以上の選定となっております。
教育長	この選定に対して、ご意見等はございますか。
教育委員	なし。

会 議 録

教育長	他の学校と比べて推薦が多い理由を教えてください。
教育総務課長	小学校からは主に児童会役員となっておりますが、内 1 人に関しては役員ではありませんが司会進行や代表挨拶等、学校での活動が活発で他の児童の模範となるということで推薦されています。 安慶田中学校からは主に、サッカーで県のチームへ選抜されたり、全国大会で優勝したりというような生徒が推薦されています。
嘉納委員	毎年学校間のぼらつきがみられますが、それは仕方ないかなと考えます。 表彰される児童生徒には図書券が贈られますよね。
教育総務課長	はい。
嘉納委員	働き方改革の観点からの意見にもなりますが、市の表彰ですが、全体朝会の場で伝達表彰という形で、各学校にて表彰するのはどうでしょうか。 老友会の活動などは、身近にいるのは校区の小中学生であるため、その場で表彰する方が良いと考えました。
教育長	今回一般で表彰となる眞喜志拓斗さんは、私の方から、被表彰候補者の選考基準第 2 条で定めている、「特別異例な功績をあげた者について、教育長が内申する者」として県民市民に勇気を与え、子どもたちにいい影響を与えたとして推薦いたしております。
教育長	他に質疑等ございませんか。
教育委員	質疑なし。
教育長	続いて、日程第 4、報告事項「その他」です。休憩します。
教育長	再開いたします。これにて令和 7 年度第 8 回沖縄市教育委員会定例会の全日程を終了いたします。ありがとうございました。